

東京・山梨地区会通信

創刊号

東京・山梨地区会 令和3年度役員
会 長 山田 晶 (NH0甲府病院)
事務局長 莊司 路 (国立国際医療研究センター病院)
理 事 手塚 好之 (NH0東京医療センター)
小沼 信 (国立国際医療研究センター病院)
荒木 勇磨 (国立成育医療研究センター)
鹿毛 亮佑 (NH0村山医療センター)
山口 理香 (NH0甲府病院)

会長挨拶

東京・山梨地区会会長
NH0甲府病院 研究検査科 技師長
山田 晶



東京・山梨地区会会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、地区会活動にもご多忙のなかご協力頂き、心よりお礼申し上げます。令和3年度会長を務めさせていただいております甲府病院の山田です。

昨年7月に開催された定期総会にて新執行部が承認され、令和3年度の事業方針である地区会施設間会員の情報交換および共有化、関信支部との連携、研修会および文化活動、広報活動と会務にあたってまいりましたが、やはり新型コロナウイルスの影響で当会が予定したほとんどの事業は制限が余儀なくされました。そんな中、この状況下での数少ない文化活動である関信支部学会の地区会ポスターコーナーで「新型コロナウイルスについて」と題して作成したポスター最優秀賞を頂くことができました。日々新型コロナウイルスに対応し対策にご尽力いただいているおかげと心から感謝申し上げます。

さて、今年度から、「東京・山梨地区会通信」を発刊していこうと思います。現況では、コロナ禍で対面での事業が行えず、新人技師や他地区会から異動された方々と全然交流ができない状況です。本誌は、地区会施設間・会員間の情報交換および共有化を目的に、他施設で今起きてる問題点や検査室状況などが伝わりにくいといった交流不足を緩和するために、新人紹介や施設紹介を無理なく行っていくものです。特に新人技師の方々を紹介することによって、他の施設の新人技師と仲間意識が少しでもでき、コミュニケーションが取れば幸いと考えています。

まだまだ終息のみえない新型コロナウイルスですが、少しずつ飲食店やイベントなど規制の緩和や解除もされております。ウイズ・アフターコロナを踏まえWebだけでなく対面式での事業も視野に入れていきたいと考えております。全面解除の暁には是非とも甲府の方に足を運び、おいしいワインやフルーツを味わってください。最後になりましたが、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

公式キャラクターの
ぼーちゃんです
腰椎がモチーフです



村山医療センター



村山医療センターってどこにある？

当院は東京都の武蔵村山市、いわゆる多摩エリアにあります。武蔵村山市は東京都の中で唯一鉄道の駅がない市であり、陸の孤島と言われているとか・・・病院行きのバスは1時間に1本しかないなどここは本当に東京なのだろうか？という場所にあります。



村山医療センターはこんな病院

当院は、「骨・運動器疾患」の臨床研究施設として国内外の大学病院や研究施設と比較してもトップレベルの施設です。主に腰部脊柱管狭窄症・腰椎椎間板ヘルニア・腰椎すべり症・頚椎症性脊髄症などの脊椎疾患の患者さんを多数受け入れています。患者さんの半数以上は手術を目的としており、年間約2000件行っています。また、脊椎側彎症や脊椎カリエスと言った一般病院では困難な治療も積極的に行っており、特に脊髄損傷の分野では、専門病棟を持ち、受傷早期の治療から自立に向けたリハビリテーションまで専門性の高いチーム医療を実践しています。患者さんの強い希望でもある損傷後の神経機能を回復させるための脊髄再生に関する治験や研究を他大学との共同研究で進めています。現在は、慶応義塾大学を中心として、脊髄損傷に対するヒトiPS細胞由来神経幹細胞移植の臨床治験が世界で初めて実施されました。当院では移植後の有効性や安全性評価を含めた経過観察とリハビリテーションを行っています。



臨床検査科について

臨床検査科では10名で日々の業務に取り組んでいます。当検査科の特徴は術中モニタリングを行っていることです。検体検査・超音波検査・術中モニタリングの件数が増加しており、充実した日々を送っているのですが、オペ室・外来・各検査室とスタッフが出向し、気が付けば検体検査フロアに誰もいないと言う事もあり、緊張感が絶えません。そのような時に限って問い合わせの電話が沢山鳴り・・・

新型コロナウイルス検査では定性検査とルミパルスG1200+にて定量検査を行っています。ピーク時は月に400件を超えることもあり、試薬が足りなくなりそうになりましたがどうにか乗り切ることになり成功・・・呼吸器科も無いのにあんな事になるとは思いませんでした(汗)基本的には定時に帰れることが多いのですが、最近では17時過ぎに急に検査依頼が数件たちバタバタするという毎日で日々大変ですが、真面目に楽しく過ごしています。



病院自慢



当院では旧病棟を利用して様々なドラマ・映画・CM撮影を行っていることです。廊下には「Drama&Movie@村山医療センター」というコーナーがあり、多くの俳優・女優さんのサイン色紙が飾られています。抽選にはなってしまうが、希望した職員は撮影している風景を見学することができ、憧れの芸能人(西島秀俊さん、山崎賢人さん、有村架純さん、橋本環奈さん等々)を間近で見ることができます。



コロナ禍で患者さん・地域の皆様に、ほんの少しでも癒しと笑顔を提供できれば・・・との思いで昨年の12月に玄関前ロータリー・西側広場に光り輝くイルミネーション、通称「村山イルミネーション」が完成しました。新たなイルミネーションスポットとして是非とも一度足を運んでみてはいかがでしょうか？(笑)



Newcomer

Introduction No.1



独立行政法人 甲府病院
国立病院機構 甲府病院

National Hospital Organization Kofu National Hospital



4月1日付けで精神・神経センターから甲府病院へ赴任しました竹内豊です。今まで、東京地区会に所属しており、4月から東京山梨地区会へ所属する事になりました。同じ東京の地区会でしたが初めてお会いする方も多いと思います。何卒よろしくお願い致します。私は、今まで生理検査を中心に業務を行って参りました。甲府病院では検体検査から生理検査・統計業務と覚えることが多くあり、早く病院に貢献できるよう頑張っています。甲府病院からの眺めは、甲府盆地・富士山・南アルプスが見渡せる素晴らしい環境です。晴れた日には富士山からパワーを頂いて活力にしています。業務が落ち着いたら、趣味の登山にでも行こうと思っています。山梨県は南アルプスへのアクセスが良いので、北岳・甲斐駒ヶ岳など有名な山へ体力が衰えないうちに挑戦したいと思っています。



研究検査科
副臨床検査議長 竹内 豊

独立行政法人国立病院機構甲府病院研究検査科の三上大です。学生を卒業し二年間国立がん研究センターで非常勤技師として生化学と免疫血清検査に勤め、今年採用されました。簡単な自己紹介をしたいと思います。基本的に明るい性格でいつでも元気です。気が落ち込んだりすることなく前向きな思考です。趣味はスポーツや家で映画を観賞しお酒を飲むことです。スポーツはバスケットボールとスノーボードをやっています。映画はアクション映画やホラー映画、サスペンス映画が好きで一度観ると監督の思考や伏線を考えてもう一度見てしまい、お酒も映画も見るのがとまらなくなります。そんな私ですが臨床検査技師として正確かつ迅速な検査結果を医師に提供するため、日々自己研鑽していきながら新しい医療知識、技術を取り込んで、幅広い検査業務を行えるように日々精進して頑張ります。どうぞこれから先よろしくお願い致します。



研究検査科
臨床検査技師 三上 大

今年の4月から甲府病院研究検査科に配属になりました、栗原郁美と申します。

東京の蒲田にある昭和医療技術専門学校が出身校です。

出身地は、生まれも育ちも千葉ですが、幼少期に少しか静岡県に住んでいたことがあり、また雄大な富士山が見える地域に住むことができ、とても嬉しく思います。私の趣味は、スポーツ観戦、旅行、韓国ドラマを観ることです。部活動ではバスケットボールの経験もあり、観戦はもちろん実際にやるのも好きです。

最近は、趣味よりも熱中しているものがあります。それは、水餃子！です。

おすすめの絶品の食べ方があるのですが、残念ながら文字数の関係で割愛します。こちらはまた紹介したいと思います。

最後になりますが、社会人としてのスタートをこの病院で迎えられることをとても嬉しく思います。一日でも早く仕事を覚えられるよう日々頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。



研究検査科
臨床検査技師 栗原 郁美

Newcomer

Introduction No.2



独立行政法人国立病院機構
東京医療センター



4月1日付で茨城東病院より昇任で参りました小林昌弘です。この度東京・山梨地区の一員としてお世話になります。以前在籍していた茨城東病院は、呼吸器疾患を診療特徴とする病院であり、日々呼吸器感染症の原因菌を検出するべく、ひたすらに喀痰検体を処理していました。しかし、東京医療センターで提出される検体は多岐にわたるため、悪戦苦闘をすることもあります。今までに出会うことが出来なかった微生物達にも巡り合うことができ、非常に刺激的な毎日を過ごしています。またISO施設での勤務は初めてのため色々と勝手がわからず、こちらも悪戦苦闘の毎日ではありますが、周囲の助けに支えられ、徐々に慣れることができています。今後も要員と力を合わせ、より質の高い微生物検査室が構築できるよう邁進してきたいと考えております。東京・山梨地区会の活動に関しましても皆様と共に、盛り上げていければと考えております。よろしくお願いいたします。



臨床検査科
主任臨床検査技師 小林 昌弘

鮮やかな新緑の候、東京・山梨地区会会員の皆様におかれましては清々しく5月をお迎えのことと存じます。はじめまして、4月1日付でまつもと医療センターから昇任で異動になりました宮下雅子と申します。よろしくお願いいたします。まつもとは、長年お世話になっておりましたので、今回が初めての異動となりました。新施設で新しい仲間、業務をこなすことが、どれほど大変か身をもって感じております。「ああ、記憶力の低下がこれ程とは・・・」と毎日独り言をつぶやきながら業務に励んでおります。幸いに、とても優しいスタッフに恵まれ、楽しく業務をこなすことが出来て大変助かっております。また、思いのほか緑も豊かな場所で、帰宅途中に10cm位のカエルが道路の真ん中に鎮座しているところに遭遇しました。少し気が楽になりました。1日も早く業務に慣れ、貢献できるよう努めたいと思います。最後になりますが、皆様のご多幸と地区会の益々のご発展を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



臨床検査科
主任臨床検査技師 宮下 雅子

4月1日付けで栃木医療センターから異動してきました遠藤光です。出身は東京で3年ぶりに帰ってきました。懐かしいと思いつつも久しぶりの都会生活に日々バタバタしており、落ち着くまでにもう少し時間がかかりそうです。

今年で検査技師としては4年目になり、検体検査室の生化学、免疫検査に配属になりました。前の施設では検体検査と微生物検査を担当していました。0からのスタートではなく前の施設と検査機器が同じだったこともあり、少しは業務に入りやすかったのかなと思っています。しかし病院の規模が大きく、ISO取得施設ということもあり、毎日忙しく時間の流れが違うのを感じています。少しでも早く業務に慣れ、皆さんの力になれるように精一杯頑張ろうと思っています。コロナが落ち着き、皆様とお会いできる日を楽しみにしています。



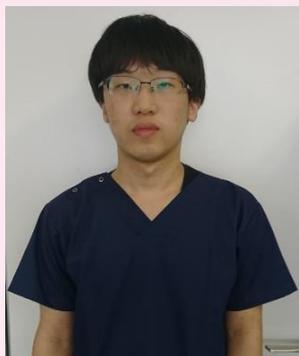
臨床検査科
臨床検査技師 遠藤 光

令和4年4月より東京医療センターでお世話になっております竹村寛昭と申します。

本年から臨床検査技師として働く上で迅速かつ正確な検査を心掛け、患者さんの立場に立ったより良い治療方法の選択の手助けとなるよう努めます。

そのためにも向上心を忘れず、学会や勉強会等に進んで参加し日々研鑽を積んでいく所存です。また当院臨床検査科の理念である「私たちは、医療技術者の一員として正確で質の高い臨床検査を常に提供し信頼される検査科を目指します」を実践できるよう、頑張っていきたいと思っています。

毎日が初めての経験であり戸惑うことも多いですが、病院職員皆様のご支援をいただきながら一日も早く臨床検査科の戦力になれるようご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



臨床検査科
臨床検査技師 竹村 寛昭

はじめまして。このたび4月1日付けで採用となりました植松さくらと申します。現在、東京医療センター検体検査室に所属しております。

採用から1ヶ月半が経ち働いていくなかで、臨床検査技師に求められる専門性は検査に関する技術や知識、品質マネジメントやデータ管理など多岐にわたるということを実感しています。また先日は国立病院機構関東信越グループの新採用者研修に参加し、国立病院機構の役割、社会人としての基本やマナーについて学びました。これらを提供しひとりの臨床検査技師として地域の医療に貢献できるよう、日々積極性や向上心を持って業務や勉強に取り組んでいきたいと思っています。

最後になりますが、臨床検査技師としてのスタートをこの国立病院機構で迎えられることを大変嬉しく思います。1日でも早く仕事を覚え臨床検査技師としてお役に立てるよう精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



臨床検査科
臨床検査技師 植松 さくら

令和4年4月4日付けで、東洋公衆衛生学院より参りました友光正照と申します。

小学生の頃サルモネラを患い、一週間ほど入院した際に様々な医療従事者と関わったことをきっかけに患者様の手助けになるような職業に就きたいと思い、医療職を目指しました。臨地実習先は東京慈恵会医科大学附属病院でした。好きな教科は微生物学ですが、これからの1年間で様々な分野を経験し、幅広くこなせる臨床検査技師になりたいと思っています。バイト経験もなく、初めてなことがばかりなためまだまだ不慣れなことが多くありますが、1日でも早くお役に立てるように精進して参ります。また、学会や勉強会などに積極的に参加し、日々研鑽する所存です。日々多忙のことではありますが、関わりの際はご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



臨床検査科
臨床検査技師 友光 正照

Newcomer

Introduction No.3



「ただいま!」。令和の到来とともに神奈川県会に移っていましたが、3年ぶりに東京・山梨地区会に帰ってまいりました。国立成育医療研究センターの澤部と申します。施設も立場も以前とは異なりますが、馴染みのある地区会ということでいささかホッとしております。前任地のNH0箱根病院には新幹線の車窓から雄大な富士山を眺めながら通勤しておりました。今も技師長室の窓から小さいながら富士山が見えるのですが、その大きさの違いに、ずいぶん通勤距離が短くなったと実感しています。当センターは閑静な住宅街に佇み、都心に近いにもかかわらず周囲には緑も多く自然豊かな環境で、とても気に入っています。ただし、規模が大きく今だに病院の中で迷っていますし、まだまだ慣れるのには時間がかかりそうです。新型コロナの影響で、地区会活動もなかなか対面での交流は難しいと思いますが、みなさんといろいろ情報共有できればいいなと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



臨床検査部
臨床検査技師長 澤部 祥子

令和4年4月より国立がん研究センター中央病院より国立成育医療研究センターへ配置換えとなりました、久保順一と申します。

私は、今は無き国立小児病院で賃金職員として採用され、国立がん研究センター中央病院、相模原病院、箱根病院、災害医療センター、国立がん研究センター中央病院、国立成育医療センターと異動し、6施設目となります。経験した部門としては生化学検査、免疫血清検査、血液検査、一般検査、生理検査、病理細胞診検査、輸血検査、採血室となります。自宅は東京ですが山梨県との境に近く、車で片道1時間40分かけて通勤しています。国立成育医療研究センターでは採血室で勤務していますが、他部門の仕事もまだまだ分からないことがたくさんあり、多くの方に助けていただいております。早く自分の職責を果たせるよう努力してまいります。



趣味は広く浅く、ツーリング、ドライブ、臨床検査部釣り、スノーボード、スキー、etc、なんでも手を出しています。また、最後になりますが、直近2回の異動は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)発生に伴い、皆様にお会いできませんが、COVID-19が収まった頃には皆様とお会いできることを楽しみにしております。よろしくお願致します。

初めまして。
今年度より国立成育医療研究センターに採用となりました五十嵐 智見と申します。
専門学校を卒業後、国立精神・神経医療研究センター病院で非常勤職員として2年間、主に生理機能検査や検体検査に携わらせていただいていたました。
成育医療研究センターでは生理機能検査を担当させて頂いています。初めて経験することも多く、戸惑うこともたくさんありますが検査室の方々のサポートや何より検査を終えた後に子供たちから「ありがとう!」とお礼を言われたり、笑顔で手を振ってくれたり、その一つ一つが私にとって次も頑張ろうと思える大きな活力になっています。その気持ちを糧に臨床検査技師として成長できるよう、今まで以上に努力していきたいと考えております。
コロナ禍が落ち着いた際には研修会等で皆様に会える日を心待ちにしております。その際にはご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



臨床検査部
臨床検査技師 五十嵐 智見

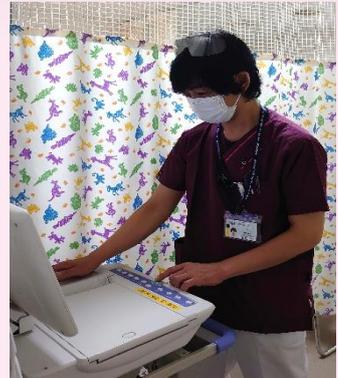
4月1日より国立研究開発法人 国立成育医療研究センターにお世話になっております高野美樹と申します。10数年前までNHQ東京医療センターに勤務していたこともありますので、顔なじみのかたも、初めての方もいらっしやると思います。

私はこの8年間埼玉にこもっていました。今は都心に向かって、久しぶりの通勤ラッシュや新宿駅の雑踏を体験しております。通勤も業務も日々鍛錬しております。毎日忙しいですが、充実した日々を過ごしております。コロナの影響もあり、まだなかなか人が集まることも難しいと思いますが、コロナが落ち着いて皆様とお会いできるのを楽しみにしております。東京・山梨地区会の皆様、今後ともご指導よろしくお願いいたします。



臨床検査部
副臨床検査技師長 高野 美樹

はじめまして。
4月1日付けで国立療養所多磨全生園より参りました岡野行宏です。
趣味は車とオートバイでしたが、体力的にも金銭的にも2台持ちは無理となり、今は車一本、燃費考えず安全運転を楽しんでいます。
今回異動となった成育医療研究センターの患者さんの多くは子供で、検査や採血のときなどは大人以上に注意していますが、泣かれたり嫌がられたりと四苦八苦しています。今後、コロナが収まったときにはお会いできるかと思いますが、その際はよろしくお願いいたします。



臨床検査部
臨床検査技師 岡野 行宏

初めまして。今年3月に大学を卒業し、4月から国立成育医療研究センターの非常勤臨床検査技師として入職致しました。櫻井菜々子と申します。大学生の頃から一人暮らしでしたが東京は初めてで都会の暮らしはまだまだ慣れません。
生理機能検査部門に配属となり、今の時期は心電図、脳波、肺機能検査等の業務を覚えています。先輩技師の方々から丁寧に知識や技術を教えて頂いているところです。国立成育医療研究センターは小児に特化した病院であり、他院では経験できないことがあるのでこれから沢山勉強していきたいです。入職してからまだ1ヶ月程で自分のことができることが限られていますが国立成育医療研究センターで多くの事を経験し、技術を磨き一日でも早く仕事を覚えて検査室の力になれるよう日々頑張りたいと思えます。よろしくお願いいたします。



臨床検査部
臨床検査技師 櫻井 菜々子

はじめまして。
国立成育医療研究センター臨床検査部の西洋平です。
臨床検査技師の国家試験に合格して初めて入職し輸血・細菌検査業務をしています。右も左もわからず不安な毎日ですが、成育の皆様にご指導頂いております。業務の一つ一つを確実に覚えることが今の目標だと思ひ、西川きよし師匠の座右の銘である「小さなことからコツコツと」を実践しています。
仕事に自信を持つことが出来るよう、また各種研修会等に参加し、更なる資格の取得や常勤での採用を目指し日々邁進していきたいです。
コロナウィルスが世界的に流行し始めてから未だに終息の見通しはたっていませんが、皆様にお会い出来る機会を楽しみにしております。今後ともよろしくお願いいたします。



臨床検査部
臨床検査技師 西 洋平

Newcomer

Introduction No.4



国立研究開発法人

国立国際医療研究センター病院

Center Hospital of the National Center for Global Health and Medicine

東京医療センターから国立国際医療研究センター病院へ異動いたしました長島恵子と申します。地区会内の転勤です。

国際医療センターは若かりし賃金職員時に勤務しておりましたが、建物や検査設備などが新しくなっており古巣という感覚は薄く、それだけでなく検査内容も進化しており、懐かしくも新鮮な気持ちで勤務させていただいています。

自称アウトドア派で、非日常を求めて都会から離れた自然と戯れながら体を動かすことで日々の仕事に精を出すことができている？のですが、コロナ禍になってそれが思うようになくなりました。溜まっていくストレスを何とかしようと始めたのが筋トレとジョギング。今まで地道な運動は苦手でしたが、トレーニング用グッズを買いそろえることも楽しく、何よりトレーニング中に味わえる爽快感にはまっています。今や（少し言いすぎですが）、やらずにはいられないほどになっています。大好きな遊びも、熱しやすく冷めやすいのでいつまでマイブームが続くかわかりませんが…。皆さん、今後ともよろしくお願いたします！



中央検査部門
副臨床検査技師長 長島 恵子



はじめまして。4月より国立国際医療研究センター病院で勤務しております。平岩珠里です。大学卒業後、国立がん研究センター中央病院の病理検査室に2年間勤務し、当院でも引き続き病理検査室にお世話になっております。同じ病理検査でも業務の進め方の違いがあり戸惑うことも多々ありますが、頼れる先輩方に支えていただきながら、少しでも早く戦力になれるよう日々頑張っております。職場ではしっかりとっているとっていただくことが多いのですが、わりと大雑把なところもあるのでボロを出さない様に気を付けたいと思っています。ストレス解消法は美味しいご飯を食べることと推し活をすることです。今は仕事に慣れることで精一杯ですが、余裕ができてきたら自分磨きにも取り組んでいきたいと考えています。まだまだコロナが収まる未来は見えませんが、学会や研修会等で皆様とお会いできるのを楽しみにしております。宜しくお願い致します。



中央検査部門
臨床検査技師 平岩 珠里

初めまして、三根琴音（みねことね）と申します。佐賀県嬉野市にある嬉野医療センターより、この度縁あって、国立国際医療研究センター病院へ転勤してまいりました。

出身は前勤務地の病院のある佐賀県嬉野市です。嬉野市はお茶と温泉が有名な佐賀の小さな市で、お茶摘みの時期には一面が緑であふれ、水もきれいで初夏の時期には家の網戸に蛍もとまるような、のどかでゆったりとしたところ。そういった田舎の環境で、これまでの生活のほとんどを過ごしてきました。

臨床検査技師を目指したのは、同じ臨床検査技師をしていた父の影響が大きいです。家族にも医療関係者が多く、身近な存在でしたので、自然と自分も医療に興味をもちました。

こんな自分が大都会の大きな病院でやっていけるのかと不安なことも多いですが、常に感謝の心を忘れず、東京でもこれまでのように笑顔で過ごせたらいいなと思っています。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

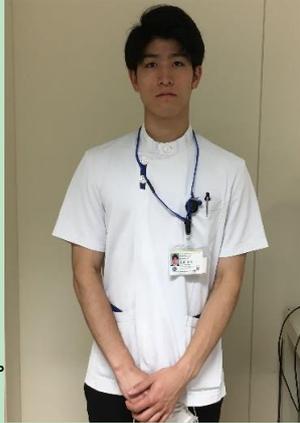


中央検査部門
臨床検査技師 三根 琴音

国立国際医療研究センターで採血室に所属している長澤と申します。

約1年半、国立がん研究センター中央病院の病理検査室に従事していました。患者と直接関わる機会が少なかったため、不慣れな部分もありますが持ち前の明るさで活気のある採血室にしたいと考えています。

紹介したいことは沢山ありますが、今回は趣味やマイブームについて紹介したいと思います。私は小学生のころからボーイスカウトに所属しており、活発で落ち着きがない性格だった私には自然にふれたり、アクティブな事をする時間が唯一自分を満たせる瞬間でした。そんな環境で育ったおかげで現在でも楽しくアウトドアライフを過ごしています。夏は登山やトレラン、クライミング、冬はスキーやスノーボード、スノーボードに明け暮れる日々です。少年のように新しいことに惹かれやすく、探求心が強い私ですが検査では様々なことに挑戦する強みになると考えています。この長所を生かしてこれからのスキルアップに繋がりたいと思います。



中央検査部門
臨床検査技師 長澤 銀河

東城茉季と申します。帝京大学を卒業し、不妊治療を主にしたクリニックにて勤務した後、ご縁あって国立国際医療研究センター病院に3月より入職いたしました。中央検査部の採血室に配属となりました。前職の培養士はとても興味深い仕事でしたが、臨床の現場で検査技師として勤めたいとの思いがあったことから、転職に踏み切りました。現在は採血室にて主任や先輩方にご指導いただきながら、日々採血業務に取り組んでおります。

休日は漫画を読んだりゲームをしたりとインドア派であり、今年の個人的な目標は理想のゲーム環境を整えることにしています。ゲームにより培われた集中力は自分の長所の一つです。

この自己紹介文を書いているのは5月に入ってからであり、入職して3カ月目になったところです。採血の自信がようやく持て始めましたが、早くも後輩ができ、私が教えることもあるため、より一層努力しなければと思っています。



中央検査部門
臨床検査技師 東城 茉季

4月1日付で国立国際医療研究センター病院に配属になりました関口祐馬と申します。検査技師としては3年目となりますが、常勤職員としては本施設が初めてとなります。1～2年目は非常勤職員として国立がん研究センター中央病院でお世話になりました。国立国際医療研究センター病院では前施設でも携わっていた免疫血清、生化学検査室に配属になりました。見慣れた測定機器もありますが、測定する項目が異なっていて戸惑うことも多い毎日ですが、前施設での経験を活かしつつ、新しいこともたくさん覚えていって早く病院に貢献できるように頑張ります。また当直業務も始まるため、経験したことのない部門の知識も必要とされるのは大変ですが、少しずつでも覚えていき自信を持って業務に取り組みるようになりたいと思います。



中央検査部門
臨検総検査技師 関口 祐馬

このたび、国立国際医療研究センター病院に入職いたしました石川遼と申します。微生物検査室に配属させていただくこととなりました。微生物は学生時代に特に力を入れて勉強したこともあり、身の引き締まる思いです。

趣味はスポーツ観戦です。特定のスポーツにこだわらず幅広くスポーツ全般を観戦しますが、特に野球は球場に足を運ぶほどよく観戦していました。今は新型コロナウイルスの蔓延のため外出が厳しい情勢ということもあり、実際に球場で観戦することはなくなりましたが、最近は動画配信なども充実しており、以前と変わらぬ熱量で観戦を続けています。最後になりますが、臨床検査技師としてこの病院で働けることを大変嬉しく思います。少しでも早く業務を覚え、貢献できるよう努めていく所存です。ご指導のほどよろしくお願いたします。



中央検査部門
臨床検査技師 石川 遼

この度、5月1日付で国立国際医療研究センター病院に非常勤職員として入職しました、赤羽佳奈美(あかはなかなみ)と申します。

長野県松本市出身で、神奈川県中央医学技術専門学校、臨床検査技術科を卒業しました。

趣味はパソコンで絵を描いたり、鉄道路線について調べることです。最近では関連書籍を取り寄せたり、都内路面電車の跡地を見に行くなどして楽しんでいます。

休日には博物館や美術館などに行くことが多いです。ここ数年はcovidの影響で大きなところには行っていませんが、先日根岸の馬の博物館や野辺山動物園に足を運びました。最後になりますが、臨床検査技師として最初の経験をこの病院で積めること、とても嬉しく思います。

1日でも早く知識と技術を身につけ、貢献できるように尽力いたしますのでよろしくお願いたします。



中央検査部門
臨床検査技師 赤羽 佳奈美

Newcomer

Introduction No.5



この度、令和4年4月1日付で村山医療センターに非常勤職員として入職させていただきました、小野菜津美と申します。

私は働きながら夜間部の専門学校に通い、臨床検査技師科を卒業しましたので、「新卒」にはなりますが年齢は「中途」となります。

これまでは海外での勤務経験を活かし、翻訳や通訳などの仕事に携わって参りました。

趣味は山登りで、国内外様々な山に登山に行ったり、トレッキングをしたりしています。

登山で頂上を目指すのと同様に「一度決めたことは最後までやり遂げる」をモットーに、どんな事も諦めず、たくさんの事にチャレンジしていきたいと思っています。

一日一日と、日々ご指導頂いた、たくさんの技術を身に付け、この人なら安心して検査を任せられる！と言っていただけの検査技師になるのが目標です。

まだまだ至らない点も多々ありますが、毎日の業務に日々精進して参りますので、何卒宜しくお願い致します。



臨床検査科
臨床検査技師 小野 菜津美

2022年4月1日付で東京医療センターより村山医療センター臨床検査技師長へ昇任で着任いたしました菅原恵子です。

村山医療センターには東京病院で一緒に働いた方も多く、初めての施設なのに懐かしく思えるのは多摩地区に戻って来たからでしょうか。

異動が決まり、友人から村山は建て替えたからよかったねと言われましたが、検査室のある外来等はそのままなのでレトロ感が満載です。ある日の夕方、窓が空いていない検査室前の廊下にツバメが迷い込んできました。いったい何処から？と思っていたら正面玄関から入って2階まで飛んできたそうです。無事保護されましたが小さな訪問者には驚きました。

検査科では6月末に検査システム・生化学自動分析装置の入替と輸血システム導入に向け準備を進めています。そんな中、当院ではこれまで新型コロナウイルス感染拡大により中止となっていた看護の日のイベントが開催され、検査科は骨密度測定で参加しました。

そろそろ地区会のイベントもオンラインではなく開催できる日が近いのではと期待しています。これからもどうぞよろしくをお願いします。



臨床検査科
臨床検査技師長 菅原 恵子



編集後記

日頃より当会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

今年度も地区会として新たなメンバーを迎えました。コロナ禍で迎える3回目の新年度、慌ただしい日々を送られている方も多いことと存じます。

数年前までは、東京山梨地区会でも5～6月にかけてバーベキュー大会や、ボーリング大会などを開催し、普段とは違う顔ぶれで楽しく交流を深めておりました。

新たなメンバーと共に今年度こそは、集合型のレクリエーションが復活できることを願っています。

東京・山梨地区会事務局長
国立国際医療センター病院
中央検査部 副臨床検査技師長
莊司 路

